

2018

感恩奉仕
Gratitude and Service

ファクトブック

データでみる 九州ルーテル学院大学



九州ルーテル学院大学
KYUSHU LUTHERAN COLLEGE

ルーテル学院前 CONTENTS

- | | | |
|--------------|------------|----------|
| 1. 基本理念・教育目標 | 5. 教育 | 9. 地域貢献 |
| 2. 学生数 | 6. 国際交流 | 10. 学生生活 |
| 3. 入学状況 | 7. 就職・進路支援 | 11. 施設 |
| 4. 卒業後の進路 | 8. 研究 | |

各種データは、原則として2018年5月1日を基準としています。
経年比較を行っているものは、過去のデータを使用しています。

1. 基本理念・教育目標

一校章の意味一



キリスト教精神「感恩奉仕」を基礎に全人格を磨く

学問の府を意味するペンをかたどった校章の中心には、ルター(ルーテル)紋章に刻まれている十字架の心を単純化した“赤い丸”が配されています。

この一点こそが、学院の原点「靈育」でもあります。

大学を巣立つ皆さんが「神様の恩恵に感謝し、神と人に仕え(奉仕する)＝感恩奉仕」に生きる
ことこそが、九州ルーテル学院の理念であり、使命であると考えています。

基本理念

- ①建学の精神“感恩奉仕”に則ったキリスト教主義の人格教育
- ②幅広い教養教育と専門領域における高度な教育研究
- ③福祉と社会・文化の向上に資する人材の育成

教育目標

- ①志を高く持ち、継続的に努力をする人
- ②確かな倫理観を持ち、社会・文化の向上に貢献する強い意志を有する人
- ③本学の理念と特色を理解し、学ぶ意欲の強い人

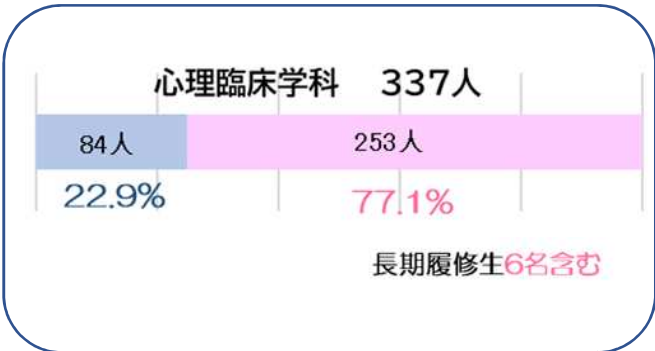
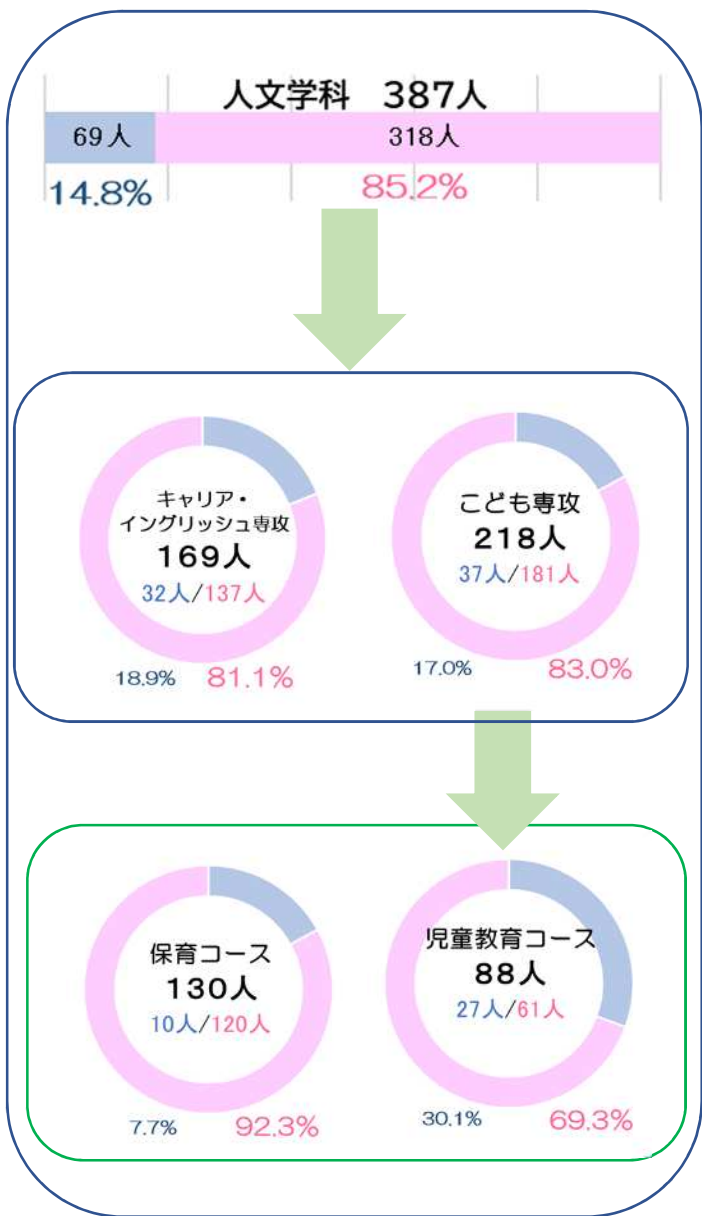
研究に関する基本方針

- ①研究の組織的取組強化による価値の創造と地域貢献
- ②大学間連携等の共同研究の強化による社会との連携

地域連携・社会貢献に関する基本方針

- ① 教育研究の成果として、蓄積する知的及び人的な資源を積極的に社会へ還元
- ② 地域社会、公共団体・教育機関・産業界、国際社会等、多様な場での交流の促進
- ③ 地域の知の拠点として、公開講座、オープンカレッジ等、多彩な社会人教育プログラムによる生涯学習の推進に寄与
- ④ グローカルな視野やマインドを身に付け、国際社会で活躍できる人材の輩出

2. 学生数



女子学生
約80%

学生総数：737人

人文学科 387人
心理臨床学科 337人
人文学研究科 13人

科目等履修生 9人を除く
(人文学部 8人 人文学研究科 1人)



各種データは2018年5月1日を基準にしています。

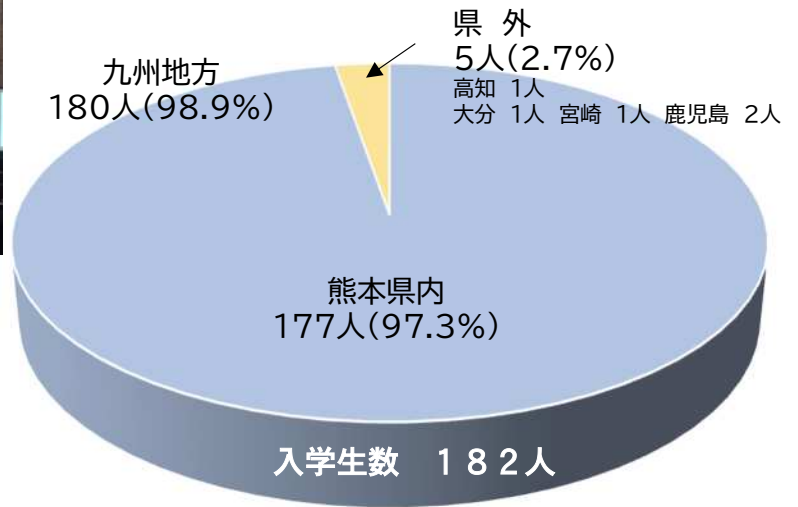
3. 入学状況



入学式

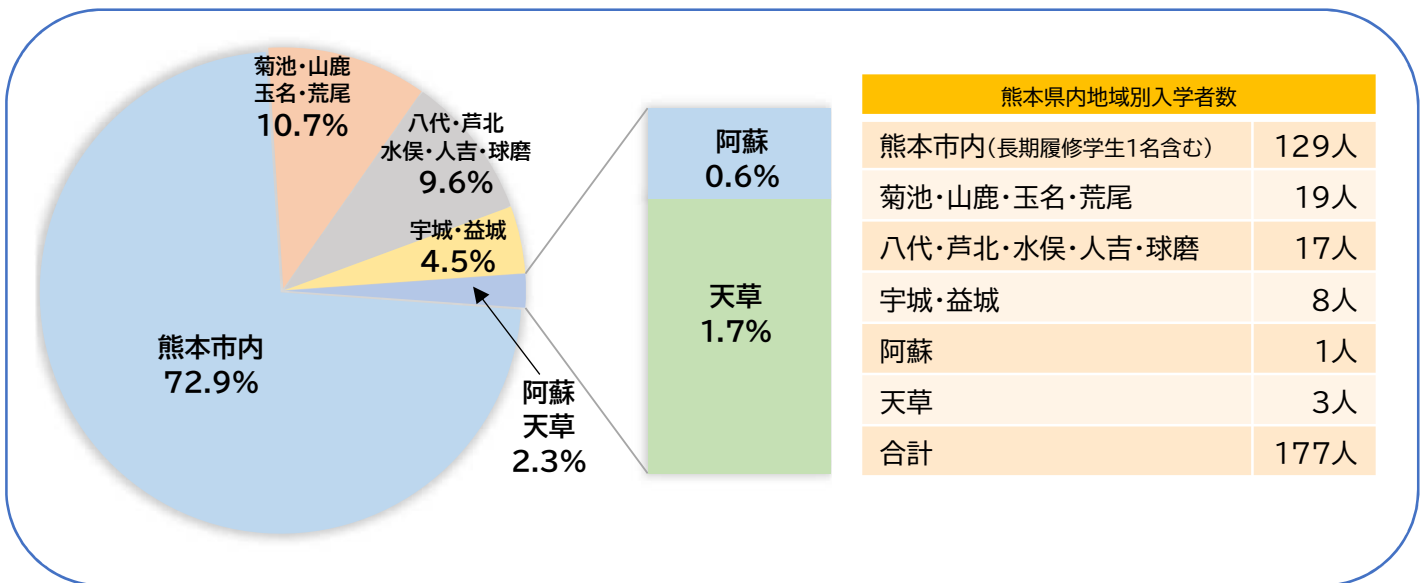
地域別入学者数(学部)

熊本県内 (長期履修生1人含)	177人
大分県	1人
宮崎県	1人
鹿児島県	2人
高知県	1人
合計	182人



(編入学を除く)

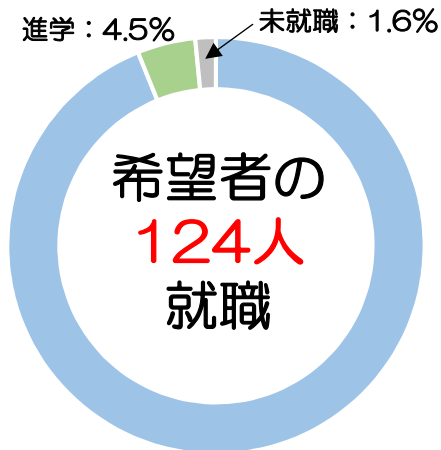
熊本県内地域別入学者



2018(平成30)年度 志願者・入学者内訳			
区分	入学定員	志願者	入学者
キャリア・イングリッシュ専攻	35	101	44
こども専攻 保育コース	50	74	36
こども専攻 児童コース		118	28
心理臨床学科(長期履修学生1人含)	65	191	74
合計	150	484	182

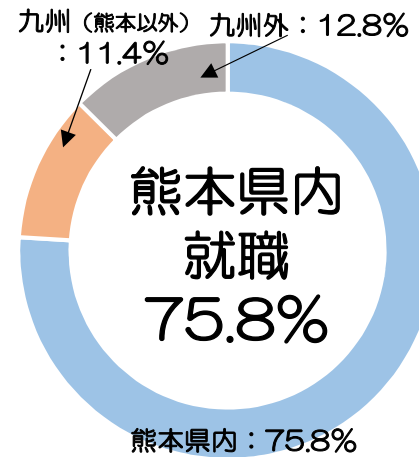
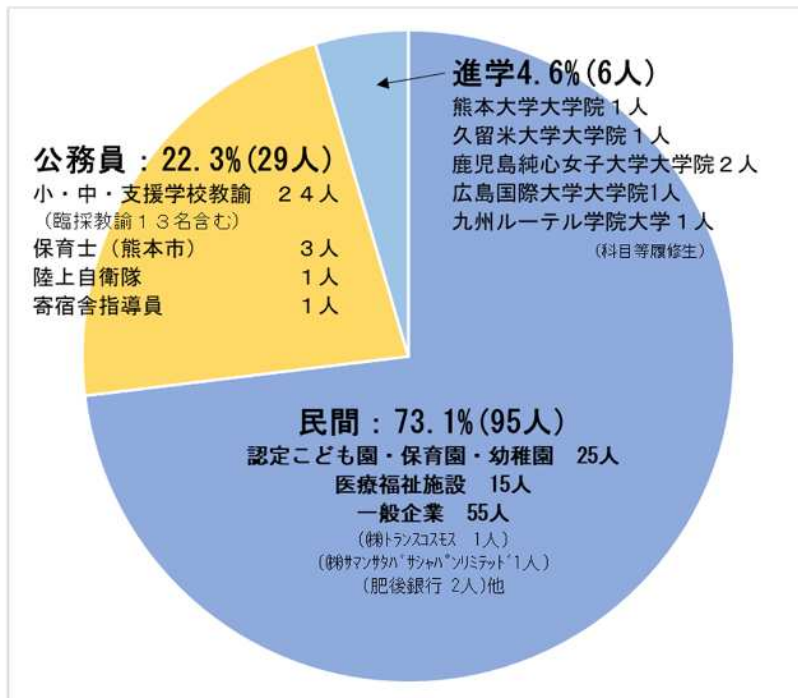
各種データは2018年5月1日を基準にしています。

4. 卒業後の進路



学位記授与式

2017年度卒業生
就職希望者：126人 就職：124人
進学者6人を除く

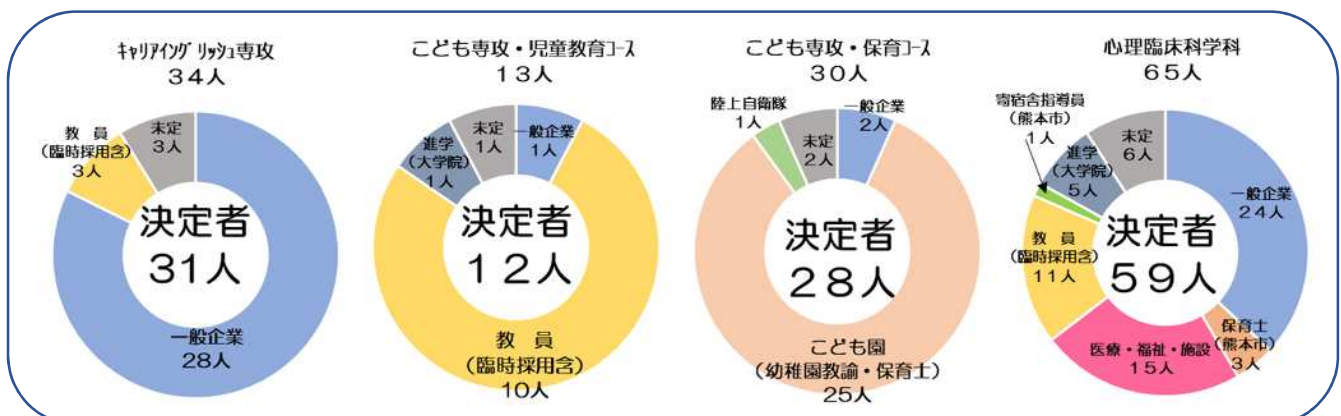


講座開設状況(2018年度)

講座名	回数	対象
就職対策講座	18	3年生
教員養成対策講座	29	3年生から4年生 受験予定者
精神保健福祉士 国家試験対策講座	23	4年生 受験予定者

卒業生の内訳(142人)

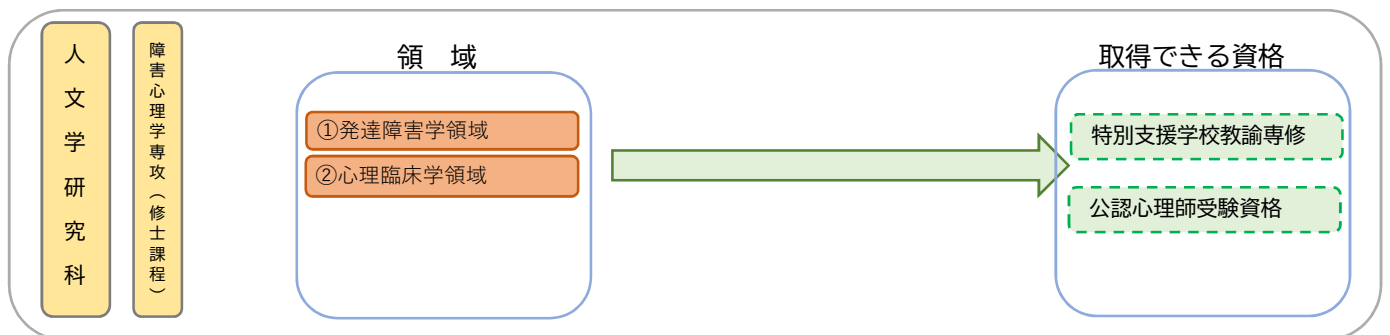
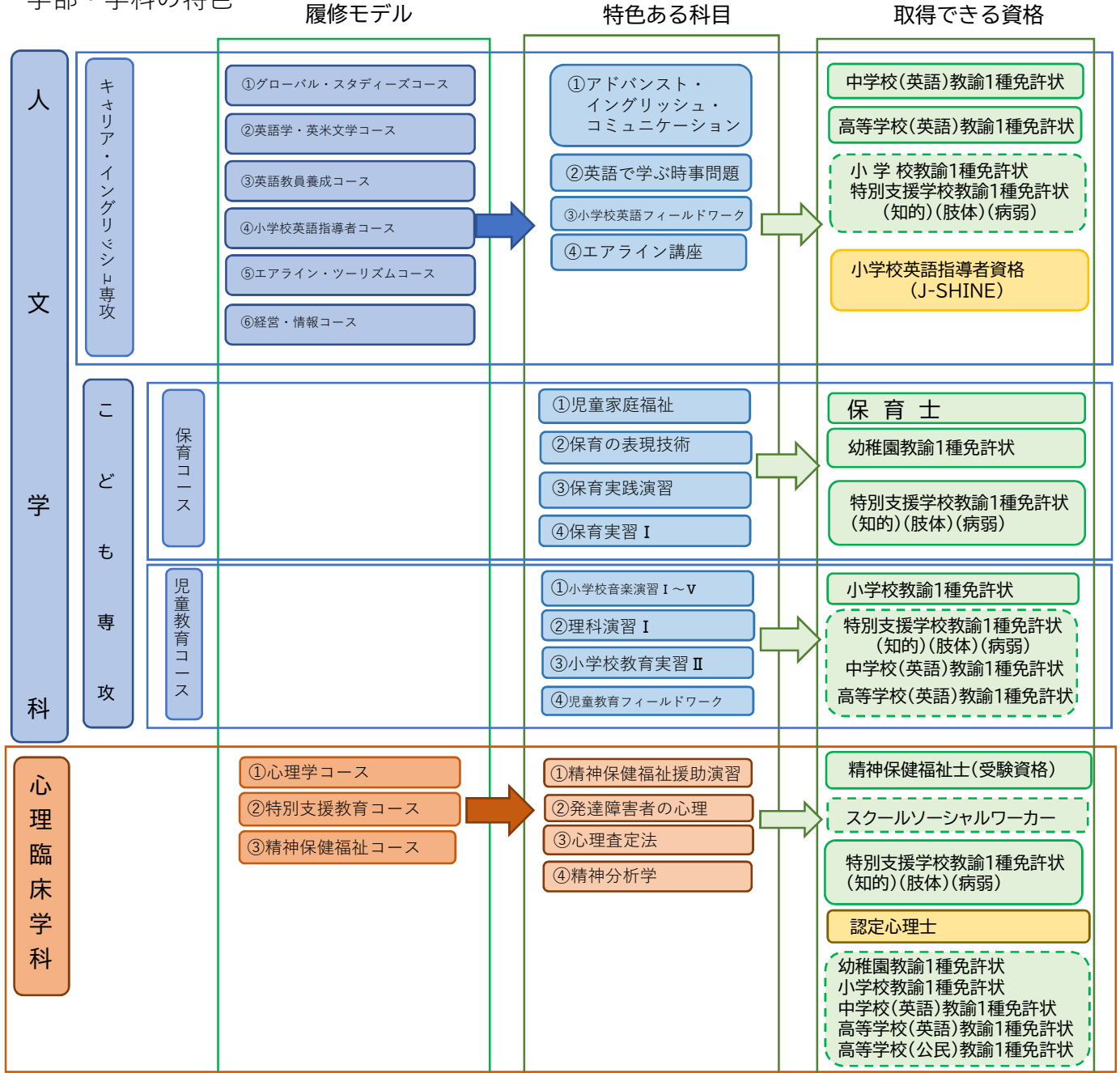
就職希望者 126人(就職 124人 未就職2人)
進学者 6人
未定者 10人 (ワーキングホリデー3人、海外留学及び進学希望2人 受験準備1人、就職希望せず3人 不明1人)



過年度卒業生8名を除く

5. 教育

学部・学科の特色



※取得できる資格の分類

国家資格・免許

条件付きで
国家資格・免許

民間資格

各種データは2018年5月1日を基準にしています。

6. 国際交流

異文化体験・海外留学

- ・国際人としての視野を広げます
- ・高度な英語力を身に着けます



異文化体験および海外留学のための提携大学・協力機関



提携大学・協力機関一覧

異文化体験及び海外留学のための提携大学・協力機関

No	提携大学・協力機関	所在地	異文化体験参加者数					海外留学							
			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度			
1	平澤大学 (ピョンテク大学)	韓国													
2	Holden Village (ホールデン・ヴィレッジ)	アメリカ													
3	Wittenberg University (ウィッテンバーグ大学)	アメリカ													
4	Capital University (キャピタル大学)	アメリカ													
5	Cumbria University (カンブリア大学)	イギリス													
6	Bangladesh (事務局: 国際エンゼルス教会)	バングラディッシュ													
7	Sunway University (サンウェイ大学)	マレーシア		5		1	3		1						
8	Grunewald Guild (グリーンウォルド・ギルド)	アメリカ	7	2	4	3	1								
9	Flinders University (フリンドर्स大学)	オーストラリア	4	11	12	5	6	1							
10	Induk University (インドク大学)	韓国		1	2										
11	India (日本福音ルーテル社団)	インド					2								
12	Cambodia (日本福音ルーテル社団)	カンボジア													
13	アシスタントティーチャーインターンプログラム	アメリカ	3	1	2	5	2								
14	Burton & South Derbyshire College (バートン&サウスダービシャーカレッジ)	イギリス		5	1		4		2	2	2	2	2		
15	Curtin University (カーティン大学)	オーストラリア				3	5								
16	その他		12												
	合計		26	25	21	17	23	1	3	2	2	2	2		

日本語・日本語文化研修の受入れ

No	提携大学・協力機関	所在地	日本語・日本語文化研修					
			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
1	平澤大学 (ピョンテク大学)	韓国		5				
	合計			5				

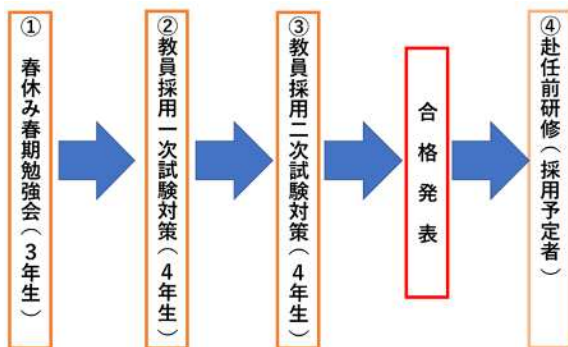
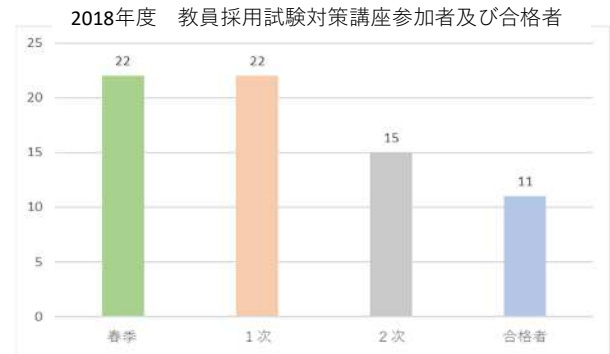
7. 就職・進路支援

多彩なプログラムで将来の就職を着実にサポート
 教職に挑む学生を強力にサポートする
教職・保育支援センター



直近2年の教員採用試験 (人)

	2017年度	2018年度
合格者	11	18
受験者	25	45



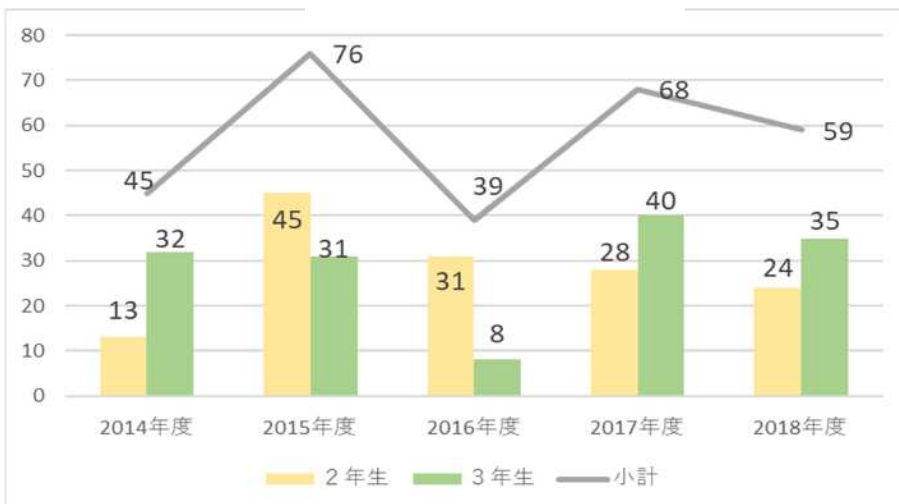
独自の教員採用試験対策



キャリア形成につなげる **インターンシップ**

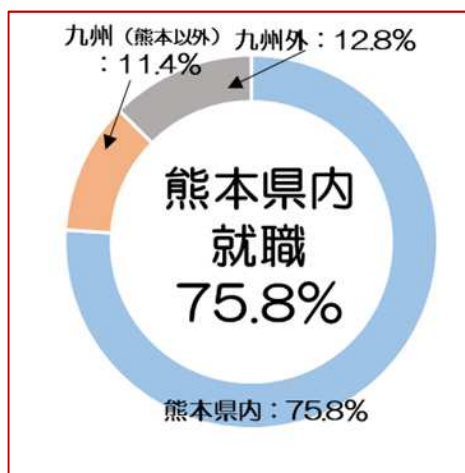
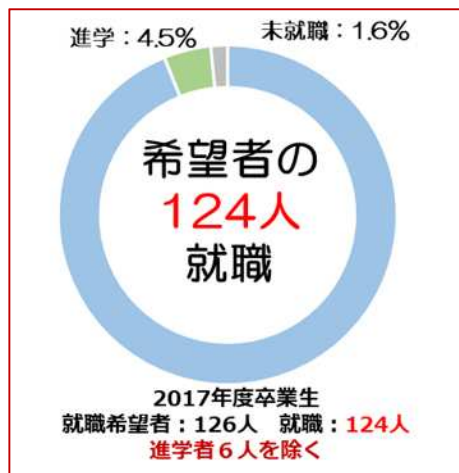
公共・医療機関からマスコミや旅行関連まで将来の志望に合わせた就業体験が可能です。

インターンシップ参加者推移



7. 就職・進路支援

就職ガイダンス



フレッシュマン・ゼミ（1年次）



ペプ・ラリー（就職活動kick off）（3年次）

講座開設状況（2018年度）

講座名	回数	対象
就職対策講座	18	3年生
教員養成対策講座	29	3年生から4年生 受験予定者
精神保健福祉士 国家試験対策講座	23	4年生 受験予定者



資格取得の状況

資格名	受験者数	合格者	率 (%)	備考
TOEIC	279	12	4.3	730点以上 (参考：英検準1級合格者1名)
保育英語検定	10	5	50.0	
Word文書処理技能認定	85	77	90.6	1級合格者9人
Excel表計算処理技能検定	13	6	46.2	1級合格者1人
サービス接客検定	38	28	73.7	全国平均 62.3
ビジネス電話検定	15	12	80.0	全国平均 62.3
秘書検定	78	45	57.7	全国平均 60.3
精神保健福祉士	17	14	82.4	全国平均 62.9

※精神保健福祉士は2017年度結果

2018年3月調査 本学調べ

8. 研究

(競争的資金)

A. 科学研究費助成事業

申請・継続・採択状況



2017年度科学研究費助成事業(継続含)

氏名	テーマ(概要)	期間	研究費
高野 美雪	日本とフィンランドにおける発達障がい児の生活リズム作りのための健康増進要因の解析	2016-2018	基礎研究(C)
三井 真紀	フィンランドにおける多文化保育の研究-移民の子どもと生活世界-	2016-2018	基礎研究(C)
久崎 孝浩	歩行開始期における他者の心の理解の発達に対する自己覚知および母親の感情鏡映の影響	2015-2018	基礎研究(C)
石坂 昌子	難病患者・家族のQOLに関するフィードバック面接の試み	2015-2020	若手研究(B)
犬童 昭久	幼児・児童を対象とした日本美術鑑賞教育プログラムの開発	2014-2018	基礎研究(C)
有村 達之	慢性疼痛に対するマインドフルネストレーニングのランダム化比較試験	2014-2018	基礎研究(C)
和田 由美子	幼児におけるネガティブではない泣きの表出と理解の発達	2017-2019	基礎研究(C)

研究不正防止に関する講演会



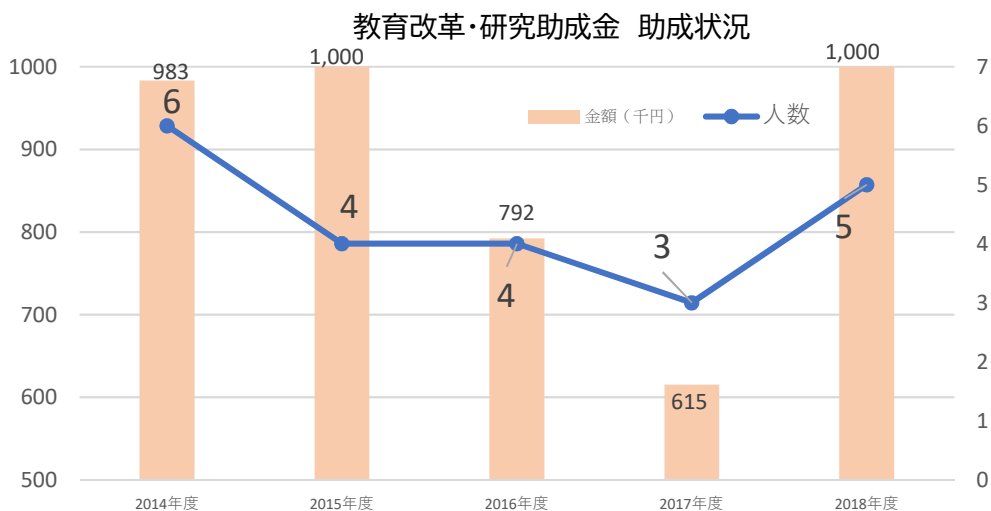
研究倫理研修会 (2018年8月)

8. 研究

B. 学内競争的資金

教育改革・研究助成金

教育改革及び個人研究等を奨励するため、当該活動に要する費用を助成



2017年度の申請は熊本地震(2016年度)の影響で減少

注：退職者を含むすべてを計上

研究実績(2014-2018年度)

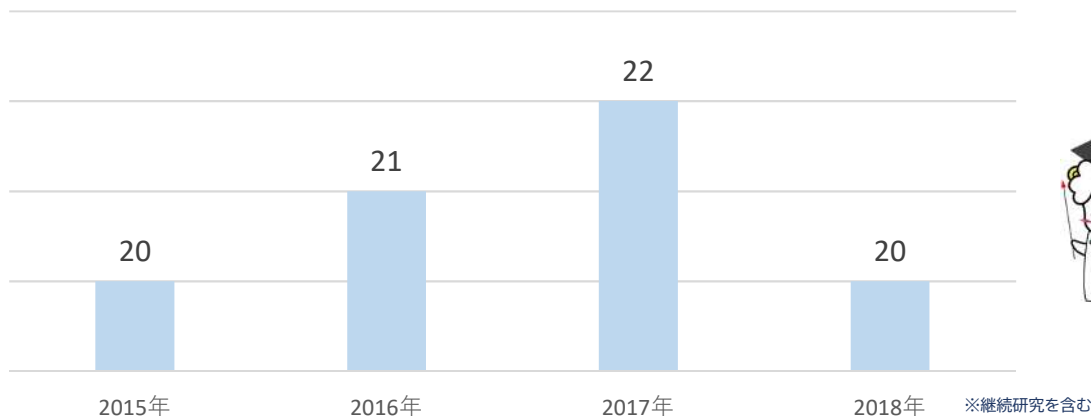
年度	研究テーマ	研究者
2014年度	「短期海外英語研修における英語力の向上」	松本 充右
	「本学入学生の日本語力・英語力の関連」	百武 玉恵
	「自己の情動表出も対する1歳児の感受性を計測する方法の開発」	久崎 孝浩
	「フィンランドにおける小児の心身健康課題の実情について」	高野 美雪
	「痛み伝達尺度の作成」	和田 由美子
2015年	「The disruption of the sense of agency in schizophrenia : A neuroimaging study with NIRS. 統合失調症における自己主体感の欠如:NIRSを用いたニューロイメージング研究」	久崎 孝浩
	「フィンランドにおける小児の睡眠・生活リズム調査の試み」	高野 美雪
	「フィンランドの多文化保育に関する実証的研究－アジア系移民の生活世界の分析」	三井 真紀
2016年	小学校英語活性化のための教材作成と活用評価	島内直英
	ヘンリー・ジェイムズ没後百年 「越境」する作家の現代的意義を探る－	砂川 典子
	重度聴覚障がい学生の受講する英語科目の教授法と評価方法、並びに情報保障方法の開発	佐々木 順二
2017年	小学校英語教材活用マニュアルの作成と実践検証	島内直英
	義務就学制実施後の聾教育の目的論と言語指導法の整備 －昭和30年代までの公立校と私立校の比較－	佐々木 順二
	子どもの主体的な活動を促す環境構成の在り方についての研究 －保育所内での子どもの行動観察を通して－	香崎 智郁代
2018年	水俣市内の小学校・中学校での英語力向上支援と英語力評価法の研究	島内 直英
	KLCが取り組む地域と連携した理科教育	坂本 昌弥
	義務就学制実施後の聾教育の目的論と言語指導法の整備 －昭和40年代までの東京の国公立私立聾学校の比較－	佐々木 順二
	短期英語語学留学プログラム別の英語力向上の効果と英語力維持のための法略	松本 充右
	熊本県における不登校支援のための情報の集約	石村 華代

注：在職者のみ記載しています。

8. 研究

C.共同研究

共同研究実施状況（件）



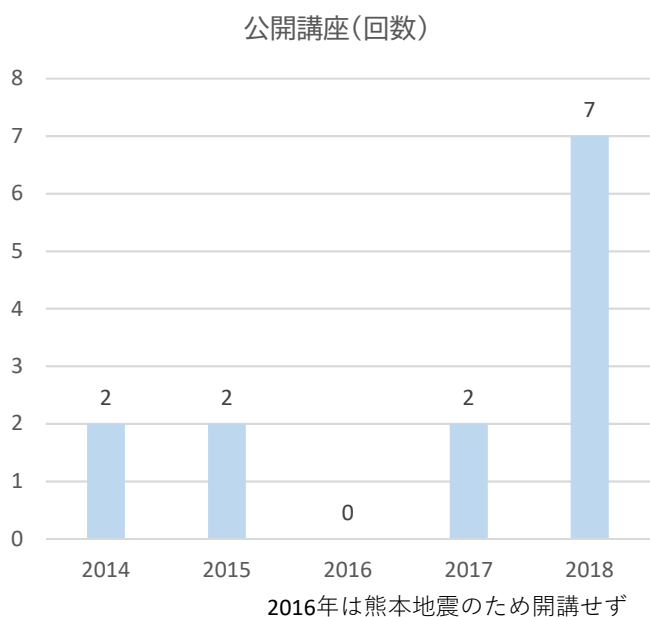
共同研究実績（2018年度）

氏名	テーマ(概要)	開始
有村 達之	慢性疼痛に対するマインドフルネストレーニングのランダム化比較試験	2014-
井崎 美代	子どもの運動遊び	2014-
石村 華代	熊本県における不登校支援のための情報の集約	2018
岩永 靖	精神保健福祉士の職業性ストレス尺度の開発と職業性ストレス評価	2015-
	効果的なスクールソーシャルワークモデルの評価と理論構築	2015-
犬童 昭久	E.P.トーランスの創造性テストTTCTの再考と試行	2018-
	幼児・児童を対象とした日本美術鑑賞教育プログラムの開発	2015-
	星野富弘作品による「心の教育」の取り組み	2018-
河田 将一	職業実践力育成プログラム—子どもの心の支援に関わる高度人材育成プログラムの開発と実践 教師、保育士、療育関係者を対象とした研修プログラムの開発と実践	2017-
香崎 智郁代 永野 典詞	保育実習Ⅱ後の振り返りからみる事前・事後指導のあり方の検討	2017-
坂本 昌弥	阿蘇黄土の教育的活用法	2017-
佐々木 順二	義務就学制実施後の聾教育の目的論と教育方法の変遷に関する研究	2017-
	地域の情報保障ニーズの把握に基づく大学間連携による支援者養成	2018-
高野 美雪	タイにおける知的障がい児支援人材育成プロジェクト	2015-
高野 美雪 岩永 靖	大学生による小・中学生に対する生活・学習支援サポーター活動	2010-
中村 敬子	特別支援学校の防災対策における合理的配慮と基礎的環境整備に関する調査研究	2018-
百武 玉恵	イギリス英語の諸相	2017-
百武 玉恵 和田 由美子	大学生における英語能力と日本語能力の関連	2014-
三井 真紀	多文化保育に関する基礎研究	2017-
和田 由美子 井崎 美代	幼児におけるネガティブではない泣きの表出と理解の発達	2015-

2019.3月調査 本学調べ

9. 地域貢献

(1) 公開講座実施状況



学ぼう！読み解こう！

2018（平成30）年度 公開講座

講座名	受講者数	回数	内容
学ぼう！読み解こう！	175	全3回	保育
歌とトークで綴るハンセン病問題	71	1回	人権啓発
英語で遊ぼう	13	1回	英語体験
親子サイエンスカレッジ	81	全5回	科学実験（親子）
障がいのある学生の修学支援に関する講演会	75	1回	障がい者支援
宮澤賢治の童話を読む	21	全5回	読書会
これからの心の支援のために -国家資格「公認心理師」のはたらき-	33	1回	心理



親子サイエンスカレッジ



英語で遊ぼう

9. 地域貢献

(2) 出張講義

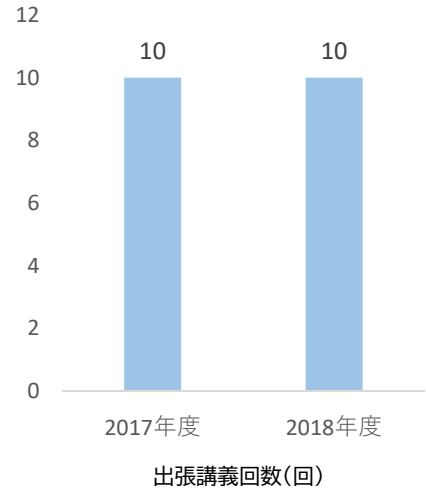
教員が高等学校へ出向き、高校生を対象に模擬授業を実施します。

2017年度実績

月	日	曜	実施会場	内容
7	12	水	八代東高校	感情心理学入門ー涙の不思議ー
7	13	木	八代清流高校	保育と笑顔(コミュニケーション)
8	25	金	天草高校	赤ちゃんの心や感情を科学する
10	7	土	熊本学園大学付属高校	学校ソーシャルワークとは？
10	19	木	玉名高校	英語を好きになるために
10	20	金	必由館高校	教職の魅力
10	30	月	熊本西高校	保育園、幼稚園の先生のお仕事について 感情心理学入門ー涙の不思議ー
12	1	金	天草高校 倉岳分校	世界の子どもたちは今ー児童労働を考える
3	12	火	水俣高校	英会話・発音のしかた

2018年度実績

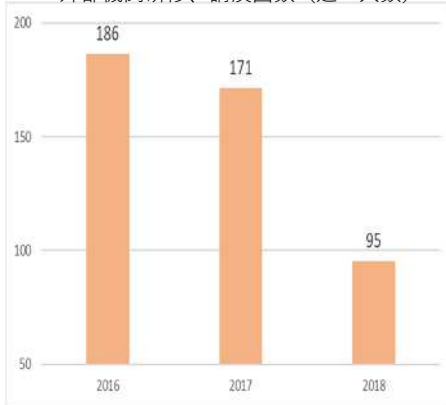
月	日	曜	実施会場	内容
6	15	金	熊本商業高校	語学について
8	24	金	天草高校	仲間づくりの心
9	28	金	小国高校	子どもの描いた絵を理解する
10	10	水	熊本国府高等学校	「子育てしやすい社会」を考える
10	18	木	玉名高校	感情心理学入門ー涙の不思議ー
10	26	金	必由館高校	「子育てしやすい社会」を考える
10	29	月	熊本西高校	災害時のこころのケア
11	29	木	慶誠高校	学校ソーシャルワークとは
2	2	土	宮崎北高校	英語を好きになるためには
3	12	火	水俣高校	英会話・発音のしかた



(3) 研修・講演

教員が、外部機関に対し、専門性を生かした研修や講演を行います。

外部機関研修、講演回数(延べ人数)



2018年度は上半期のみ

2018年度 外部機関への研究・講演(抜粋)

研修・講演等	依頼者
日本専門医機構認定 麻酔科専門医講習 (麻酔科領域講習〔8〕「慢性痛の認知行動療法」)	日本臨床麻酔学会 第38回大会
認知行動療法セミナー講師	大分メンタルヘルスネット
「専門能力向上研修」	熊本市健康福祉子ども局
新規任用スクールソーシャルワーカー研修会	熊本県教育長
嘉島町教職員研修会	嘉島町教育委員会
女性の力で、熊本の大学、企業、地域社会を元気にするセミナー	大学コンソーシアム熊本
off-JT職能研修 幼児教育研修「幼児教育専門研修」	熊本市教育センター

(4) 高大接続

「大学キャンパスVisit & Try」2018 実施状況 (ルーテル学院高等学校)

実施日	科目名	参加者(人)
10月8日	青年心理学	4
	コミュニケーション障害者の心理	2
	プログラミング言語	2
	アドバンスト・イングリッシュ・コミュニケーション	4

9. 地域貢献

(5) ボランティア活動



ダウン症支援部
夏季療育キャンプ
阿蘇市



ルーテルかよう会
体力測定
熊本市（九州ルーテル学院）

活動実績		
ダウン症支援部	ダウン症の方との療育活動と余暇活動	毎週土曜日 熊本県身体障がい者福祉センター
自閉症支援部	自閉症児の子どもたちへの療育活動	本学内
子育て支援部 「くれよん」	小学部と幼稚部に分かれ子育て支援活動を実施	土日を中心 リクエストがあれば県内どこでも
金曜教室 「発達障がいのある児童生徒の学習支援活動」 心とそだちの臨床研究所 (ジャンヌ)	LD、ADHD、高機能自閉症などの発達障がいのある小・中・高校生を対象として、本学学生・大学院生等による学習支援活動と、教員と外部の専門家による保護者支援の実施	毎週金曜日18:30-20:20 本学4号館、2号館
ルーテルかよう会	「ささえりあ浄行寺」と合同で介護予防教室を実施	毎週火曜日 本学ボランティアセンター
災害ボランティア	西日本豪雨災害ボランティア 8/6 学生15人 教職員3名	8/6-7 愛媛県西予



災害ボランティア
平成30年7月豪雨災害（西日本豪雨）
愛媛県西予市



9. 地域貢献

(6) 包括連携協定



菊池市との包括連携協定



熊本県立ひのくに高等支援学校との包括連携協定

①地方自治体との包括連携等

自治体名	主な活動内容	締結日
菊陽町	・ 小学校外国語活動学生ボランティア派遣	2010年6月
合志市	・ ソーシャルワーカー派遣 ・ 地域の家族活動見守サポーター養成講座	2014年11月
和水町	・ こどもフェスティバルin和水 ・ 和水町英語キャンプ in和水 ・ なごみ物産展inルーテル	2016年4月
菊池市	・ 多様な問題に直面している児童生徒のスクリーニング ・ 教育力/授業力の向上に関する支援 ・ 配慮を要する児童生徒への対応に関する支援	2019年3月

②学校との包括連携等

学校名	主な活動内容	締結日
熊本県立 ひのくに高等支援学校	・ 園芸活動	2018年7月
学校法人ルーテル学院 ルーテル学院大学	・ 研究プログラムの共同構築	2019年1月

10. 学生生活

充実した4年間を過ごすための生活支援

(1) 奨学金制度

九州ルーテル学院大学奨学金(通称KLC奨学金)

種別:給付型(返済の必要はありません。) 給付額は、当該授業料に対する率になります。



KLC奨学金授与式

種別	給付額	人数	条件	実績(2018)
1号	100%	2人以内	成績・品行・学生生活が特に優秀であり、かつ、他の学生の模範となり、経済的にも援助が必要とする者	0人
2号	50%	各学年4名以内	成績・品行・学生生活が優ぐれ、かつ、他の学生と友好関係を保つことができ、経済的にも援助が必要とする者	13人
3号	25%	各学年4名以内	特に経済的な援助が必要な者	14人

※採択率：33.8% (応募者数：80人 選出者数：27人)

(2) その他 奨学金制度

授業料全額免除推薦入試制度

一般入試成績上位者授業料全免制度

2018年度対象者 5人

各種奨学制度利用状況 全学部生の**54.4%**利用

名称	利用者数(延べ)
日本学生支援機構奨学金(1種)	204
日本学生支援機構奨学金(2種)	164
日本学生支援機構奨学金(給付型)	9
熊本県保育士修学資金貸付事業	10
熊本市奨学金	1
民間奨学金: 壽崎育英財団(3人) 内村チ力育英財団(1人) 鶴友奨学会(2人)	6
合計	394

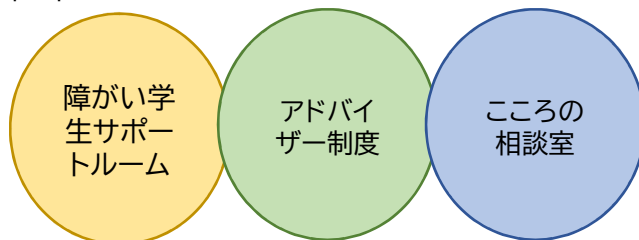
(3) その他

住居に関すること		
	ルーテル学院女子寮	アパート等
家賃	5.9万/月	4~5万/月
その他経費	入寮費 30,000円(初回) 共益費 10,000円(年額)	入居条件による
備考	3食付 学内に設置	入居条件による
定員(総数)	8人	なし



ルーテル学院女子寮

(4) 学生サポート



障がい学生サポートルーム	障がいのある学生が、他の学生と同じように授業等に参加できるよう、学生の相談に応じ、必要な支援を行う窓口です。
アドバイザー制度	入学時に約20名程度の学生グループを編成し、原則として同じ教員が4年間アドバイザーとして卒業後の進路を視野に入れつつ、学生一人ひとりにきめ細やかな指導を行います。
こころの相談室	臨床心理士の資格を持つ教員や外部カウンセラーが、様々な悩みの相談を受け、学生生活がスムーズに送れるようにサポートします。

10. 学生生活

クラブ・個人活動等



ハンドベル



聖歌隊

文化系サークル
ダウン症支援部
自閉症支援部
くれよん部
他8団体

運動系サークル
軟式野球部
他9団体

チャペル委員

聖歌隊
ハンドベル
オルガニスト

特色のある活動

聖歌隊	礼拝堂を中心としたミニコンサート
ハンドベル	入学式・卒業式・キリスト教関連イベント

実績

軟式野球部	第35回西日本大学軟式野球大会	出場
坂井梨矩（個人） キャリア・イングリッシュ専攻	第6回エリザベス・ラッセル杯 英語スピーチコンテスト （活水女子大学）	優勝



第35回西日本大学軟式野球選手権大会出場



第6回エリザベス・ラッセル杯英語スピーチコンテスト 優勝

11. 施設

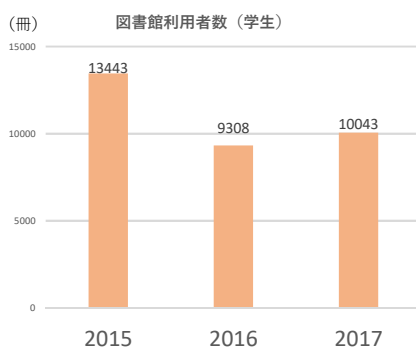
(1) 図書館

17か国語の聖書が閲覧できます。



聖書

- ・イギリス・韓国・ギリシャ
- ・スウェーデン・スペイン・スロベニア
- ・中国・デンマーク
- ・ドイツ（ルター訳）（現代語訳）
- ・日本・ヒンズー・フィンランド
- ・フランス・ヘブライ・ベンガル
- ・ポルトガル・ロシア



座席数102席

(2) ラーニングコモンズ

LEAP「飛躍」(Learning & Education Assembly Place)

学生が課外で自主的な学びを通して、さらに飛躍することを期待して名付けました。



2018年3月OPEN



座席数 カウンター 7席 テーブル 74席



学院聖句

わたしが来たのは羊が命を受けるため、
しかも豊かに受けるためである。

(ヨハネによる福音書 10章 10節)

発行

九州ルーテル学院大学
〒860-8520
熊本市中央区黒髪3-12-16
TEL 096-343-1600(代表)
<http://www.klc.ac.jp/>